



2019年4月期 第2四半期

# 決算説明会

2018年12月14日

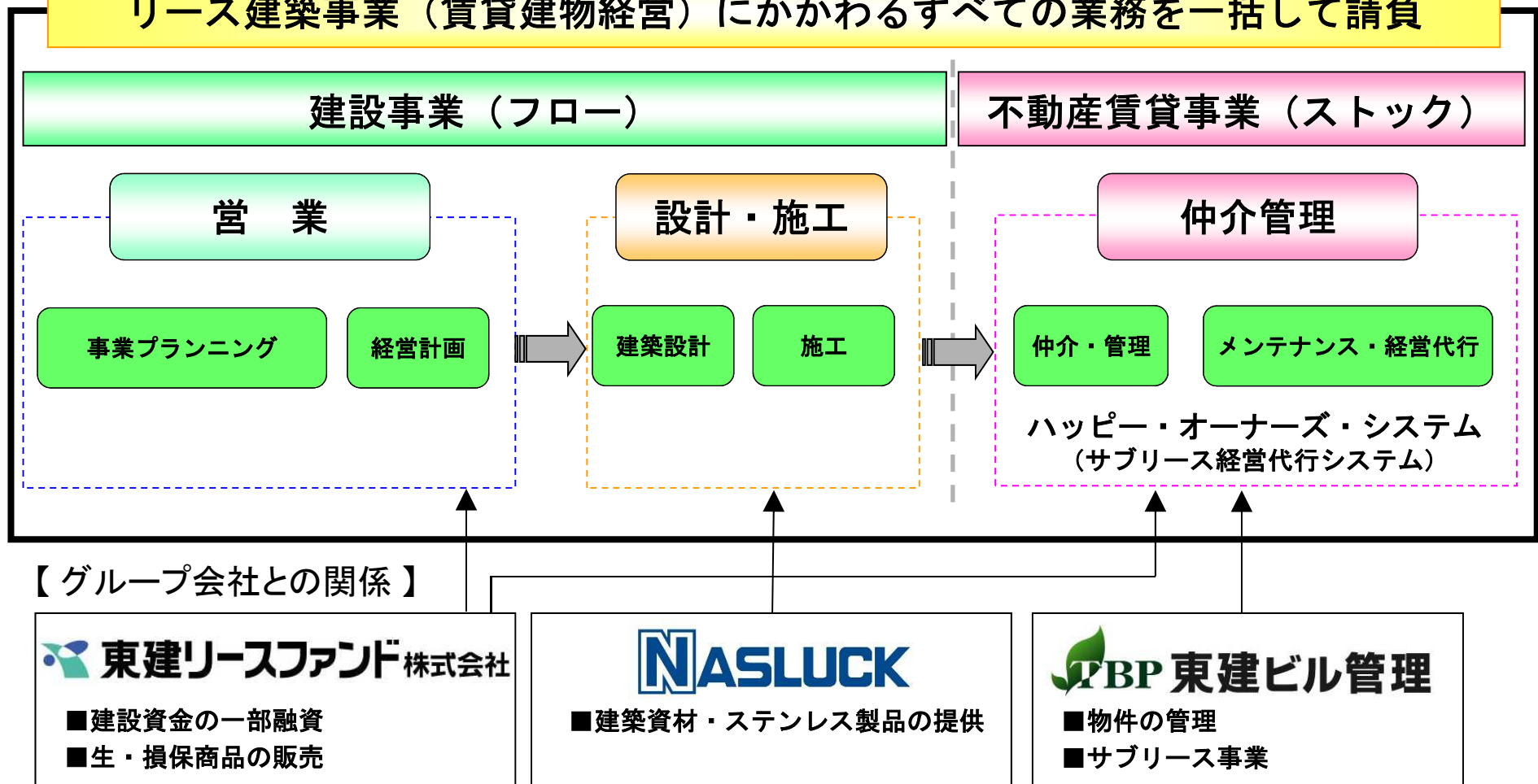
 **東建コーポレーション株式会社**

# 1. 当社ビジネスモデル

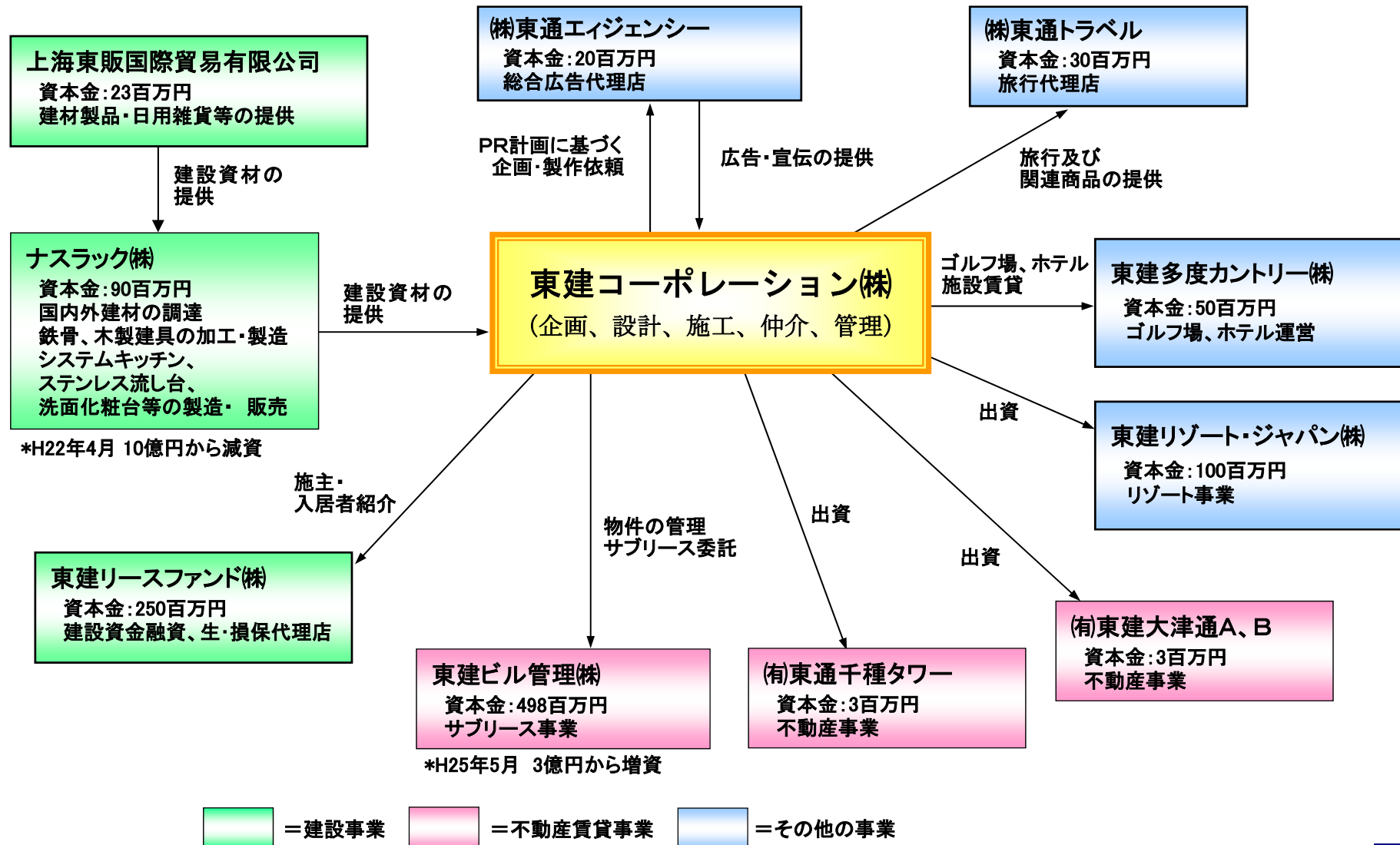
TOKEN CORPORATION

リース建築事業（賃貸建物経営）におけるトータルサポートシステムが、顧客（特に施主様）を満足させ、会社の安定成長に寄与します。

リース建築事業（賃貸建物経営）にかかわるすべての業務を一括して請負



## 2. 連結グループ会社の概況





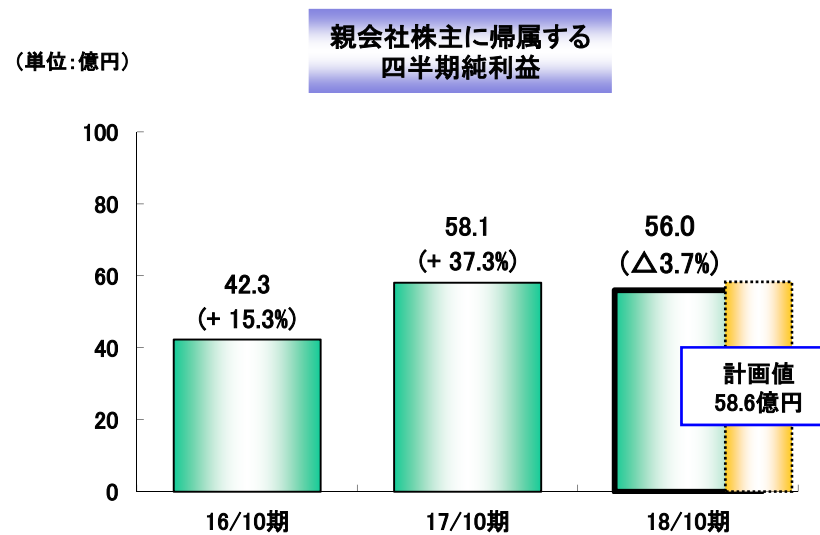
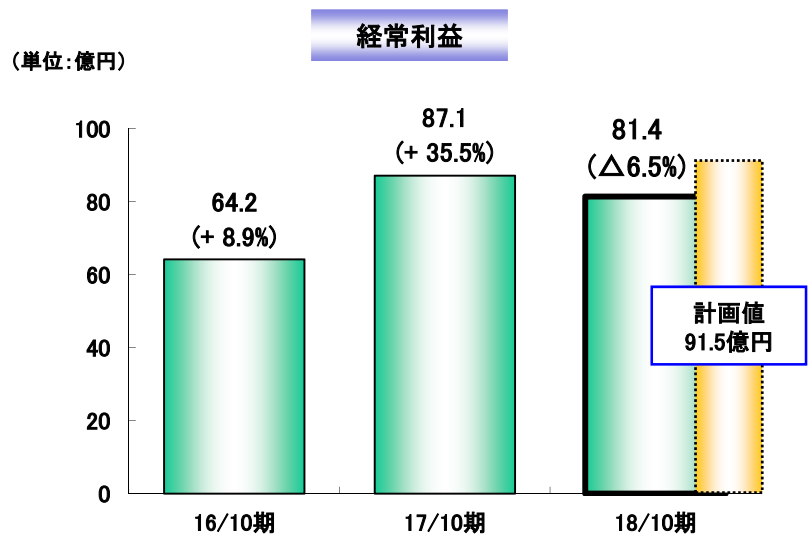
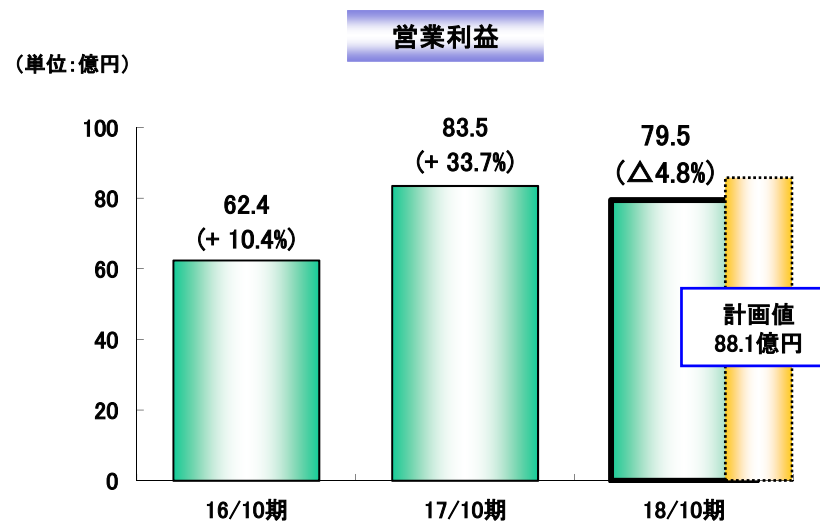
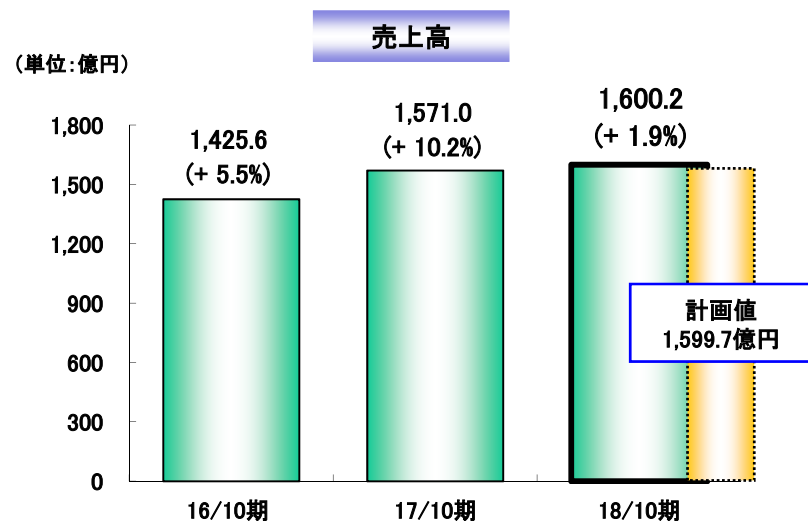
# I . 第2四半期累計 決算説明

---

# 1. 連結損益計算書

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-7)



## 2. 連結売上高 ～完成工事～

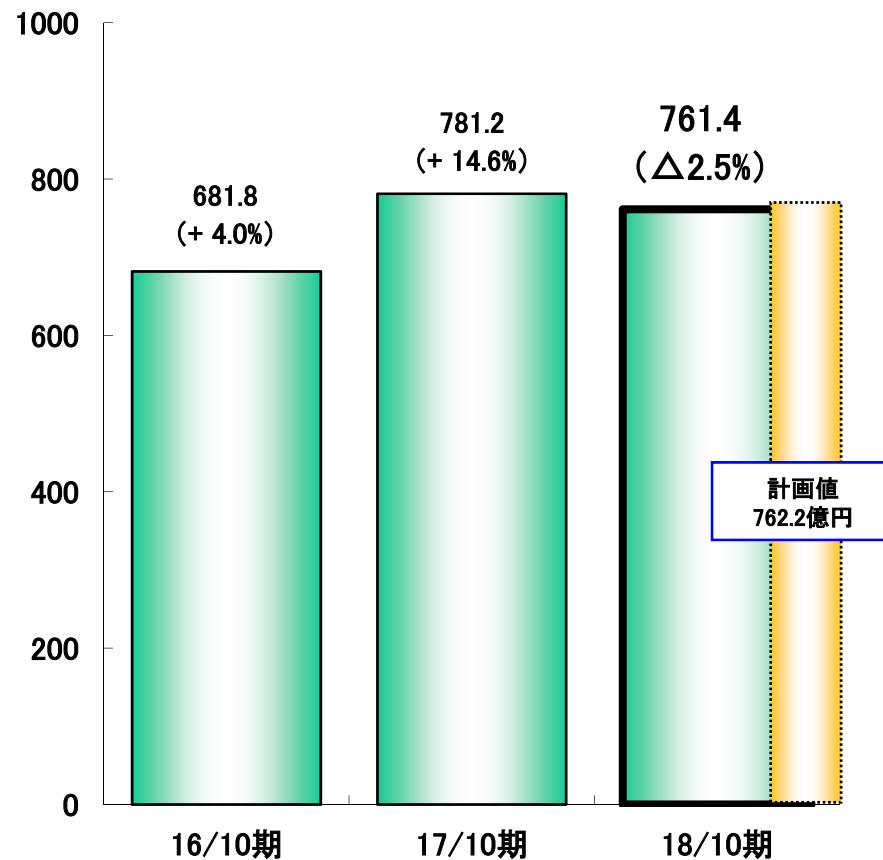
TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-4)

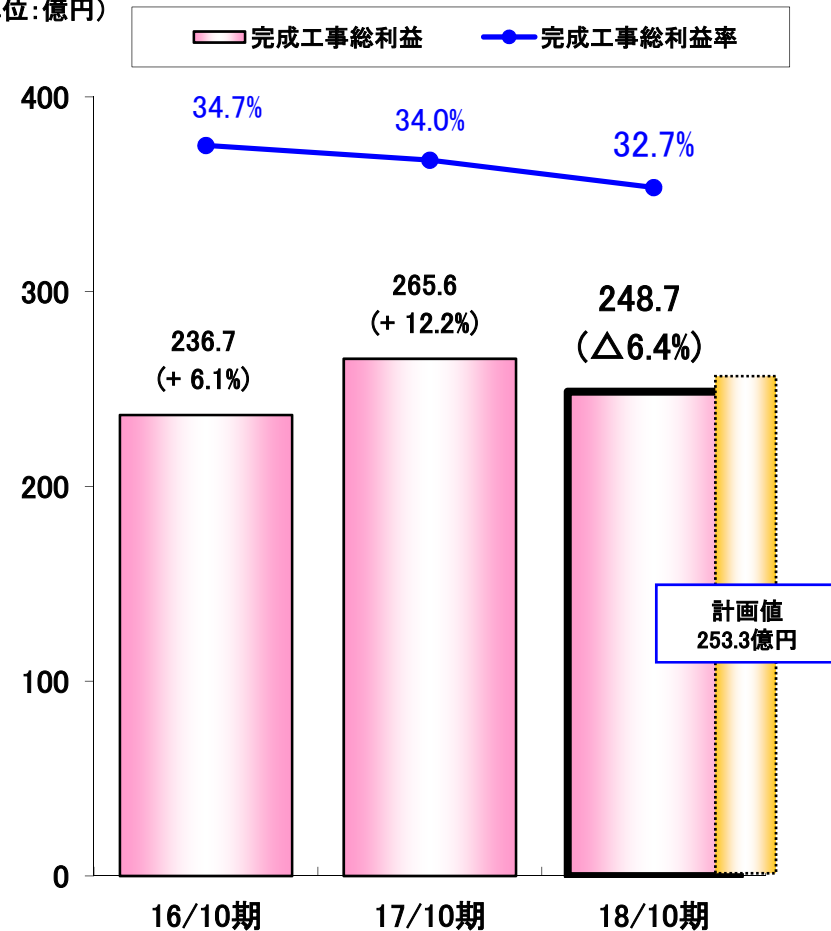
### 完成工事高

### 完成工事総利益

(単位:億円)



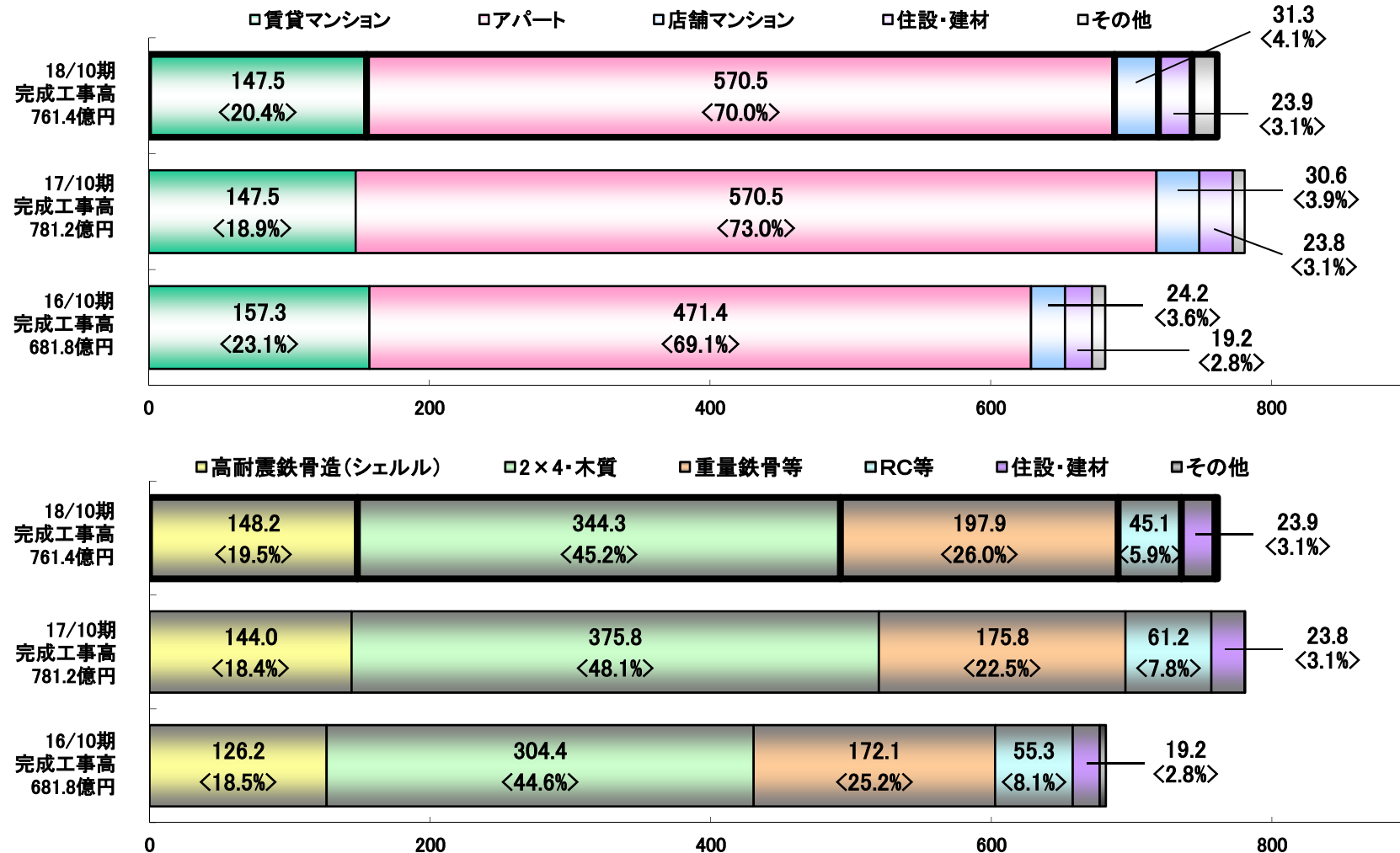
(単位:億円)



○完成工事高：受注残物件の減少により前年同期及び計画値を下回りました。

○完成工事総利益：完成工事高の減少及び完成工事総利益率の低下により前年同期及び計画値を下回りました。

# 3. 完成工事高 ～売上内訳～



(単位: 億円)

○賃貸マンションの増加などにより鉄骨系の比率が増加しました。

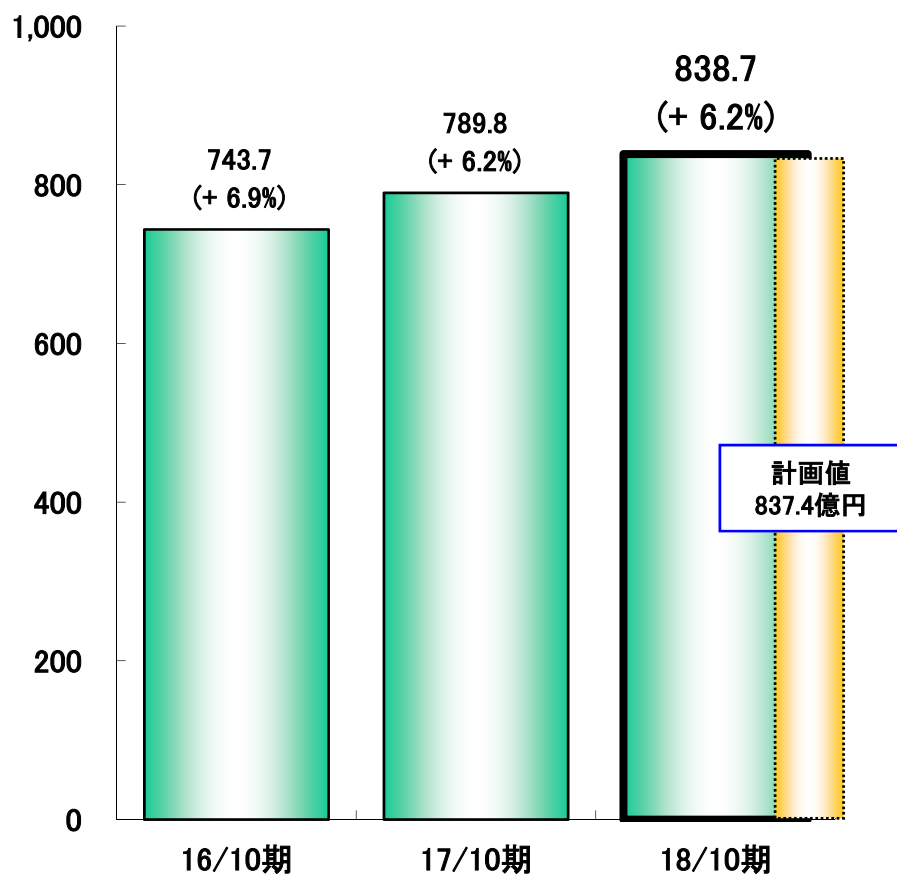
\* < >内の数値は構成比を表しております。

# 4. 連結売上高 ～兼業事業～

(決算資料P1-4)

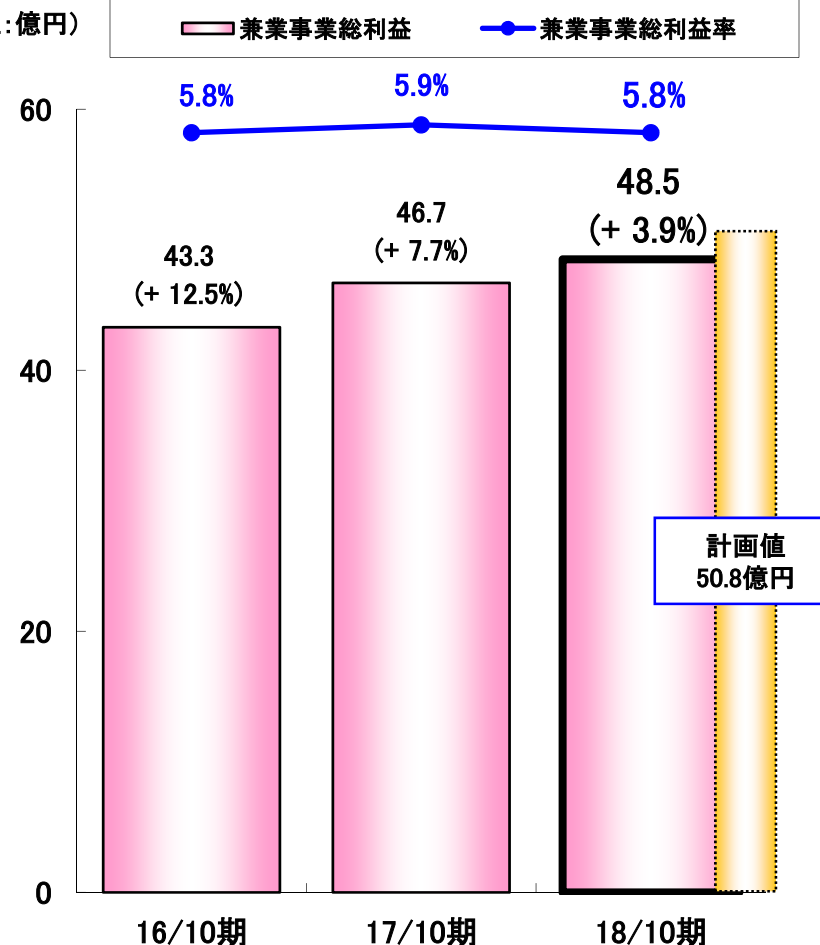
## 兼業事業売上高

(単位:億円)



## 兼業事業総利益

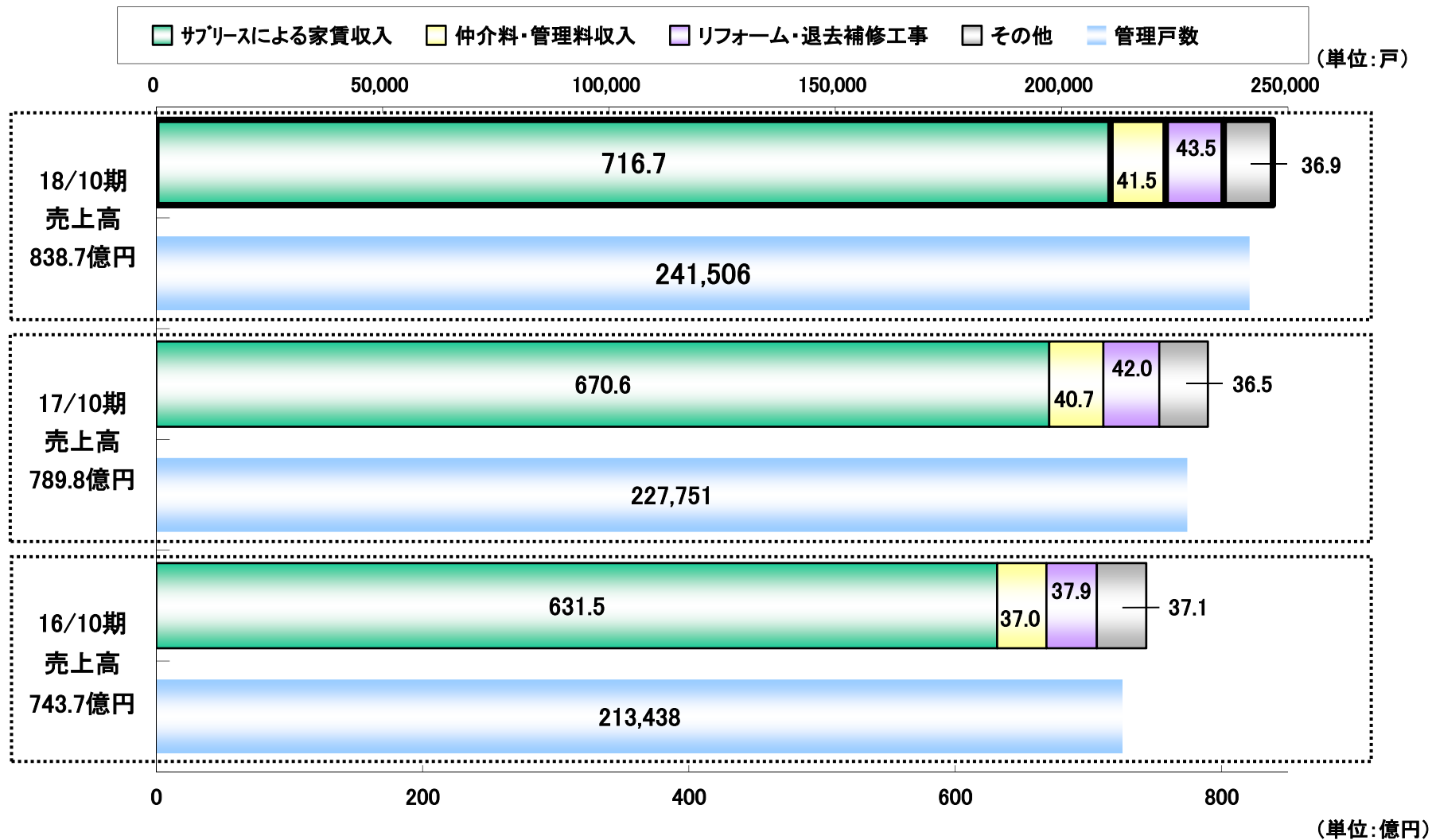
(単位:億円)



○兼業事業売上高：不動産事業の受取家賃収入の増加に伴い売上高も前年同期を上回りました。  
 ○兼業事業総利益：高い入居率を維持しているものの、対計画値では予想入居率が僅かに下回りサブリース収支が変動しました。



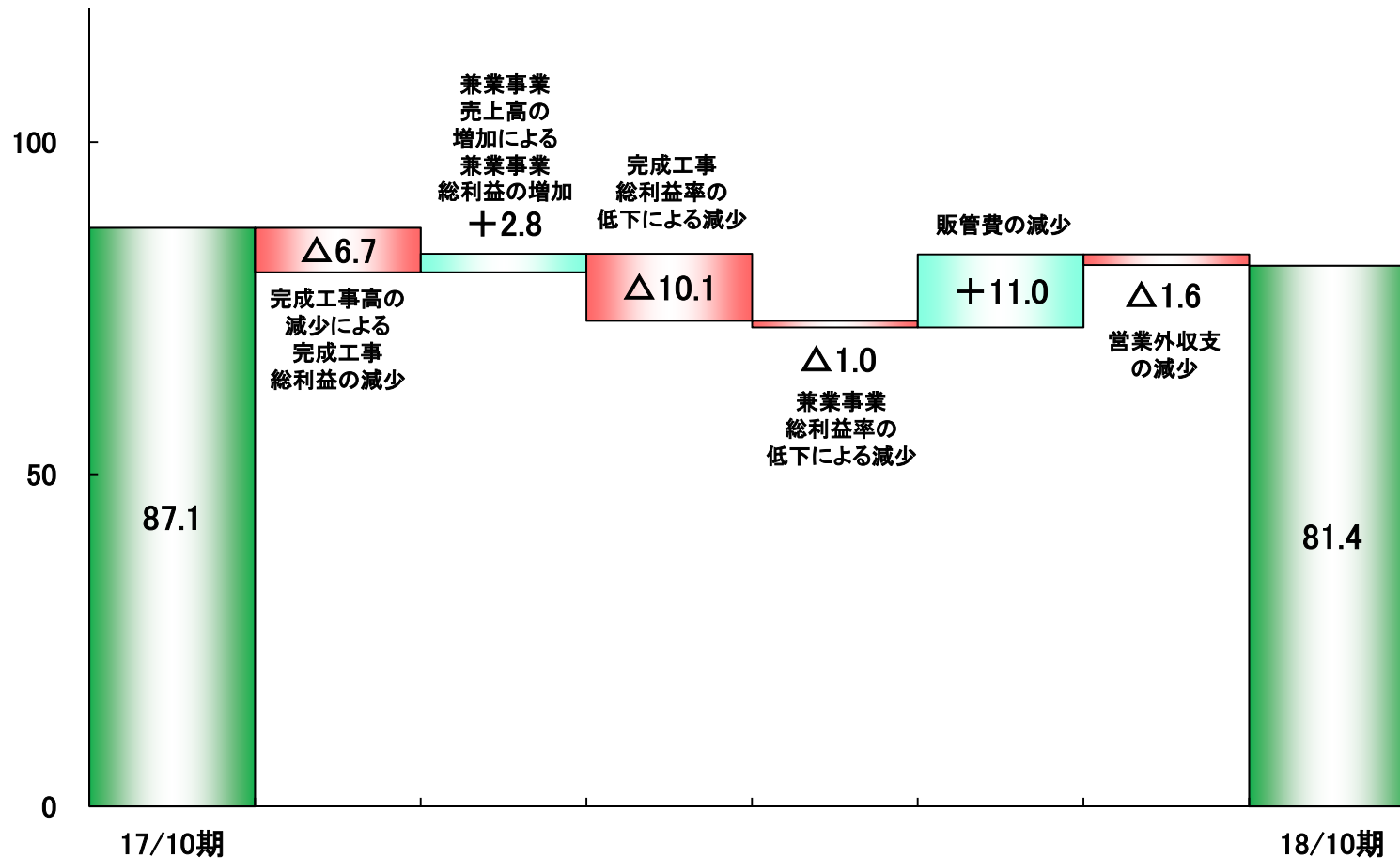
# 5. 兼業事業売上高 ～売上内訳～



○管理物件数の増加に伴い家賃収入が増加しました。

## 6. 経常利益増減要因

(単位:億円)



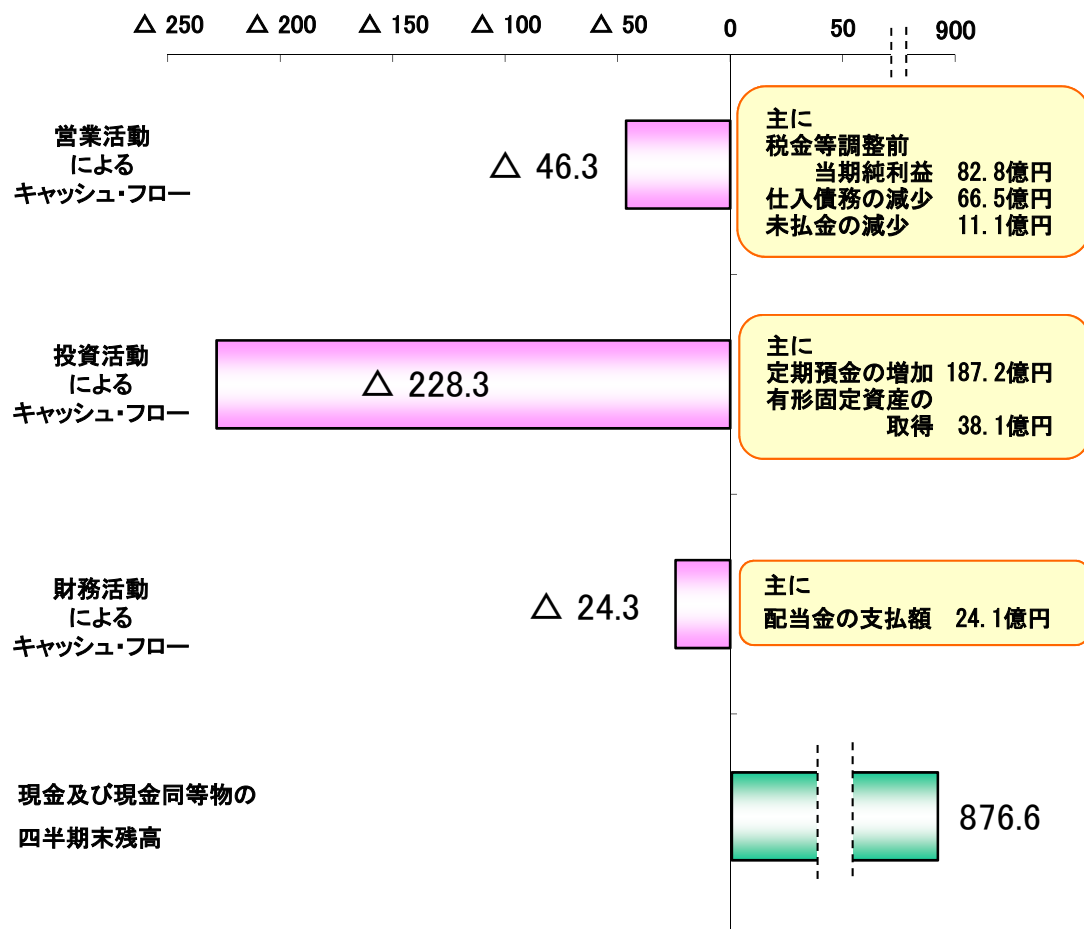
○経常利益の主な減益要因は、建設事業の売上高の減少及び完成工事総利益率の低下によるものです。

# 7. CF・設備投資

(決算資料P5)

## 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)



## 設備投資

(単位:百万円)

	17/10期	18/10期
設備投資額	3,949	4,353
減価償却額	652	672

○高級賃貸マンション「栄タワーヒルズ」建設

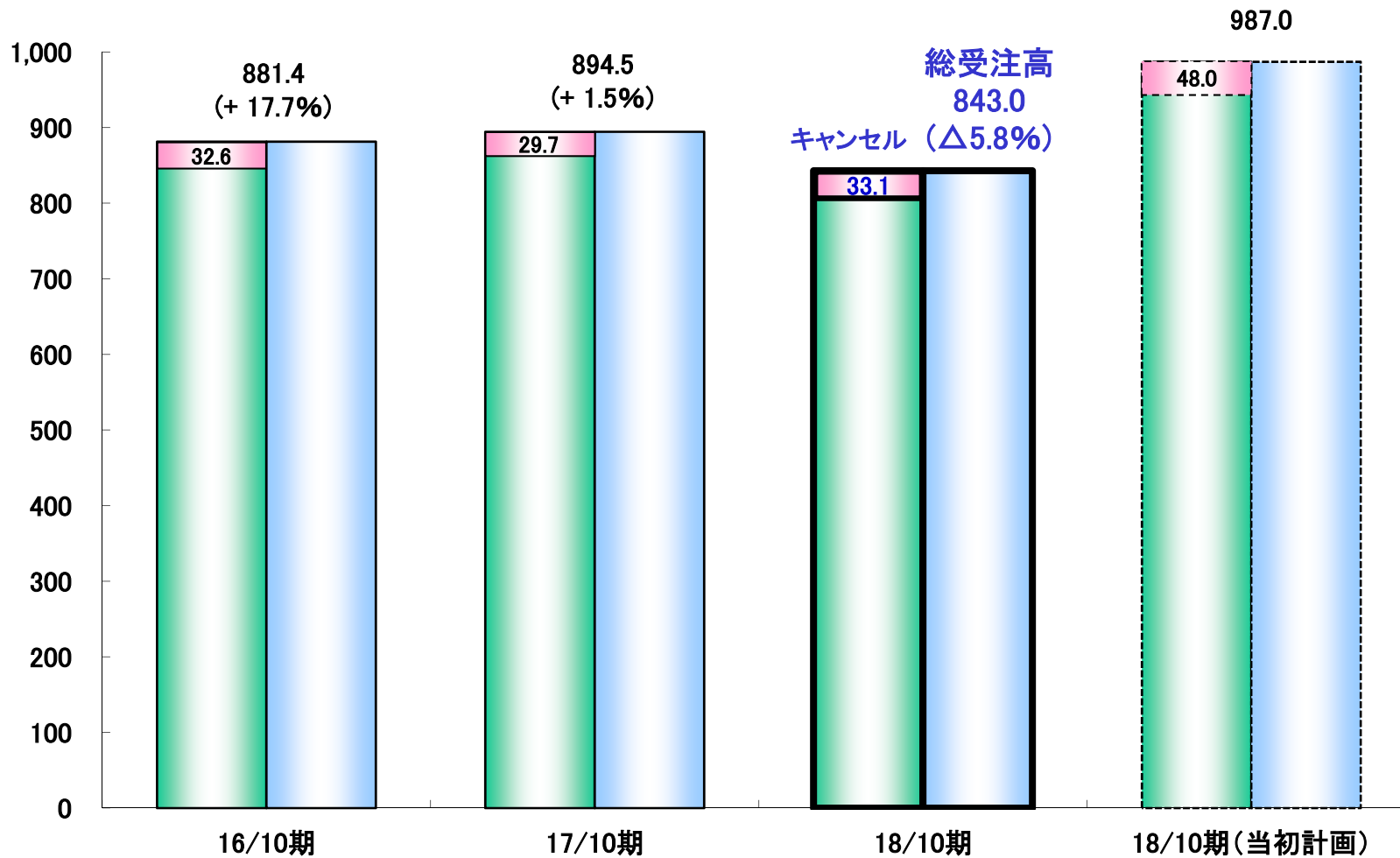
17/10期: 21.4億円

18/10期: 28.3億円

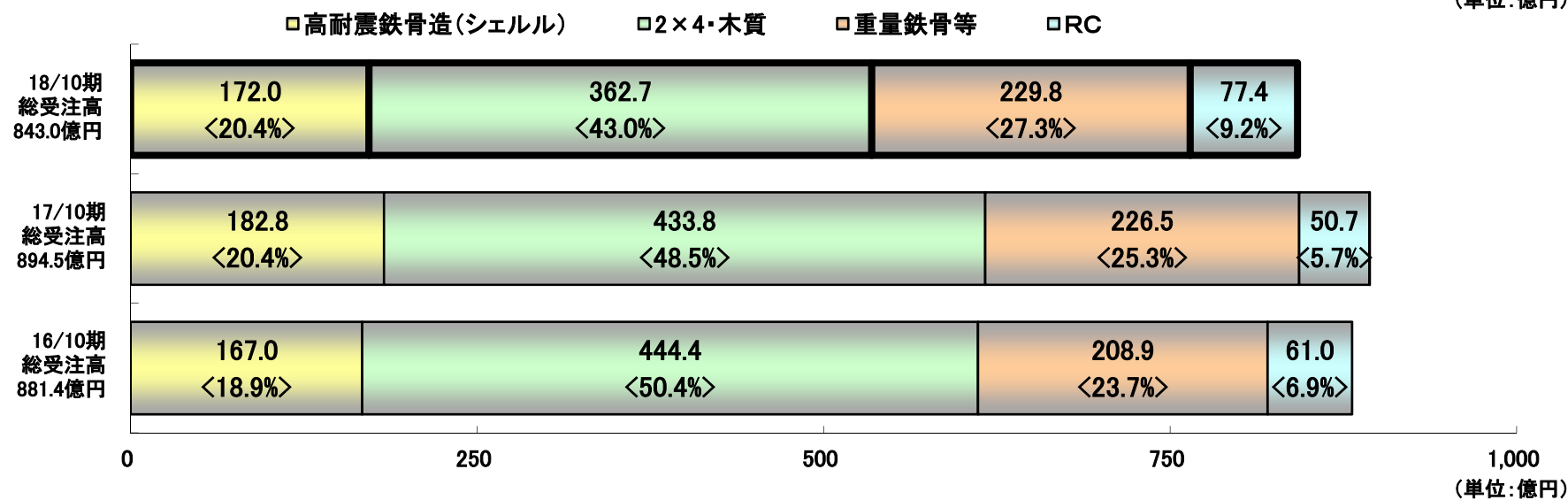
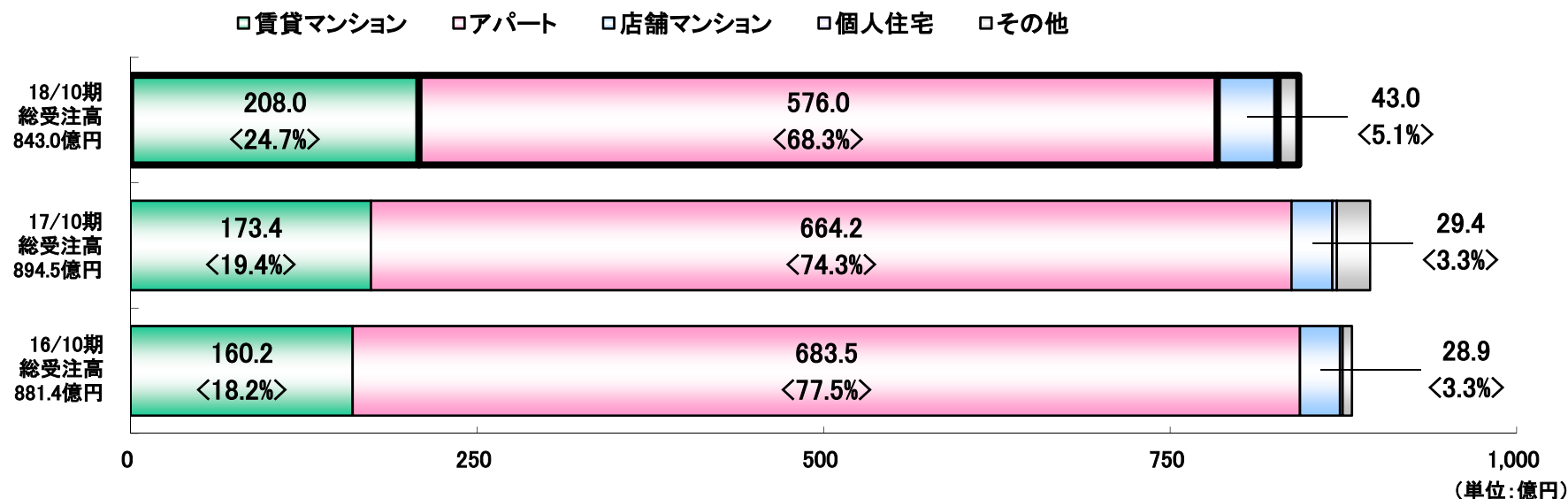
## 8. 受注高 (単体)

(決算資料P9・13)

(単位:億円)



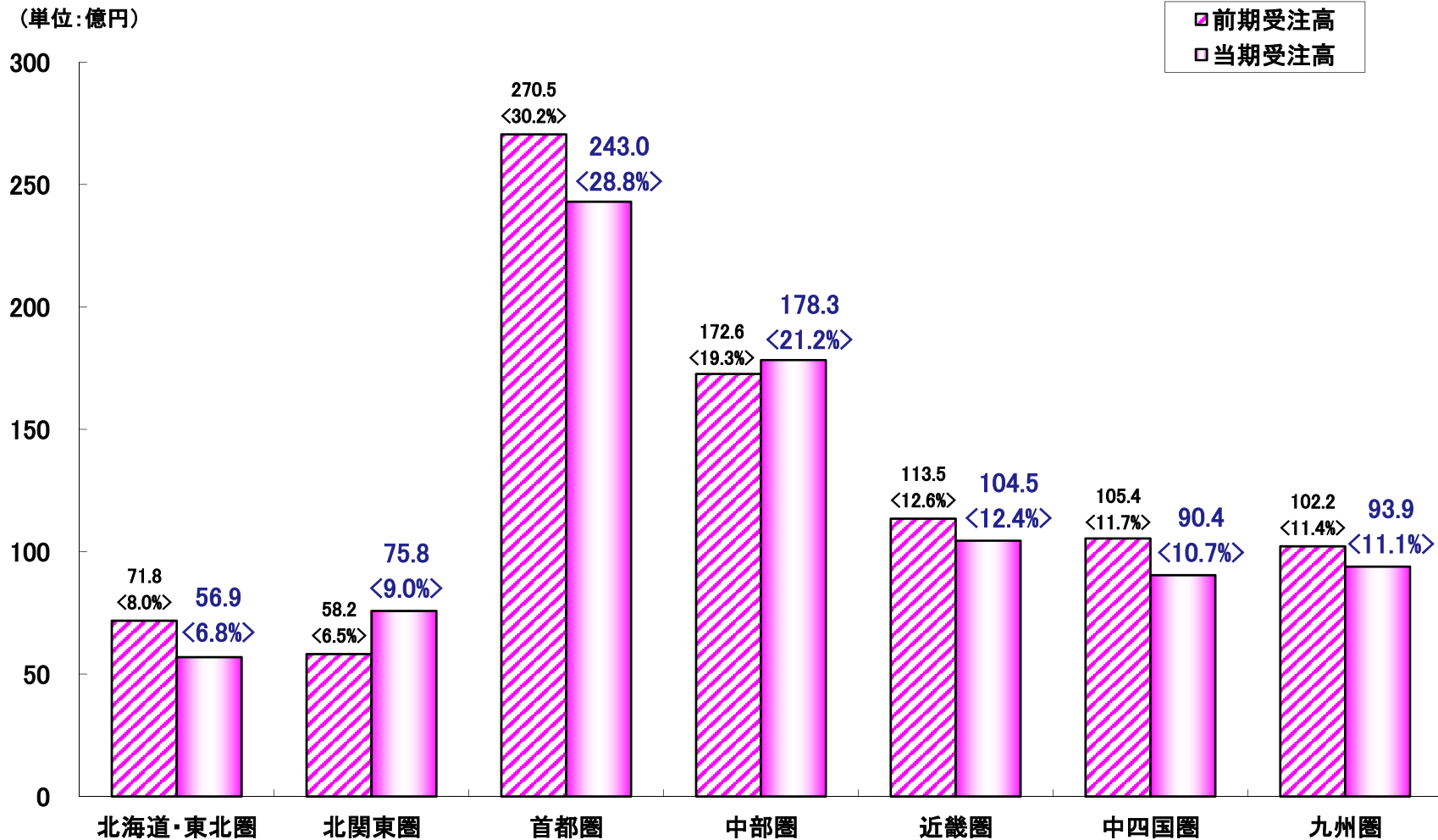
# 9. 種類別 受注高 (第2Q累計: 単体)



\* < > 内の数値は構成比を表しております。

# 10. 地域別受注高（第2Q累計：単体）

（決算資料 P13）

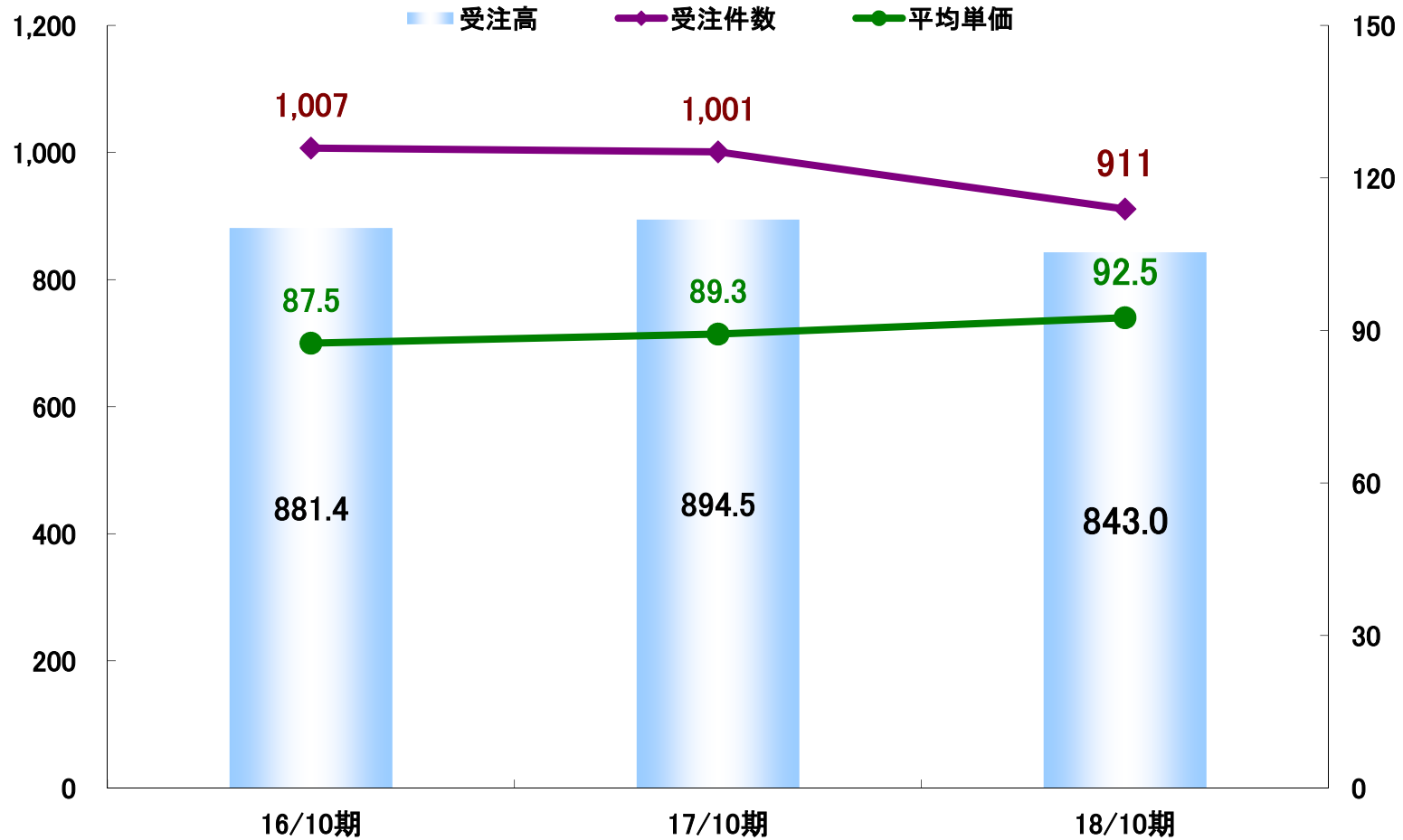


\*上記は総受注高を表しております。  
\* < >内は構成比を表しております。

# 11. 受注単価の推移（単体）

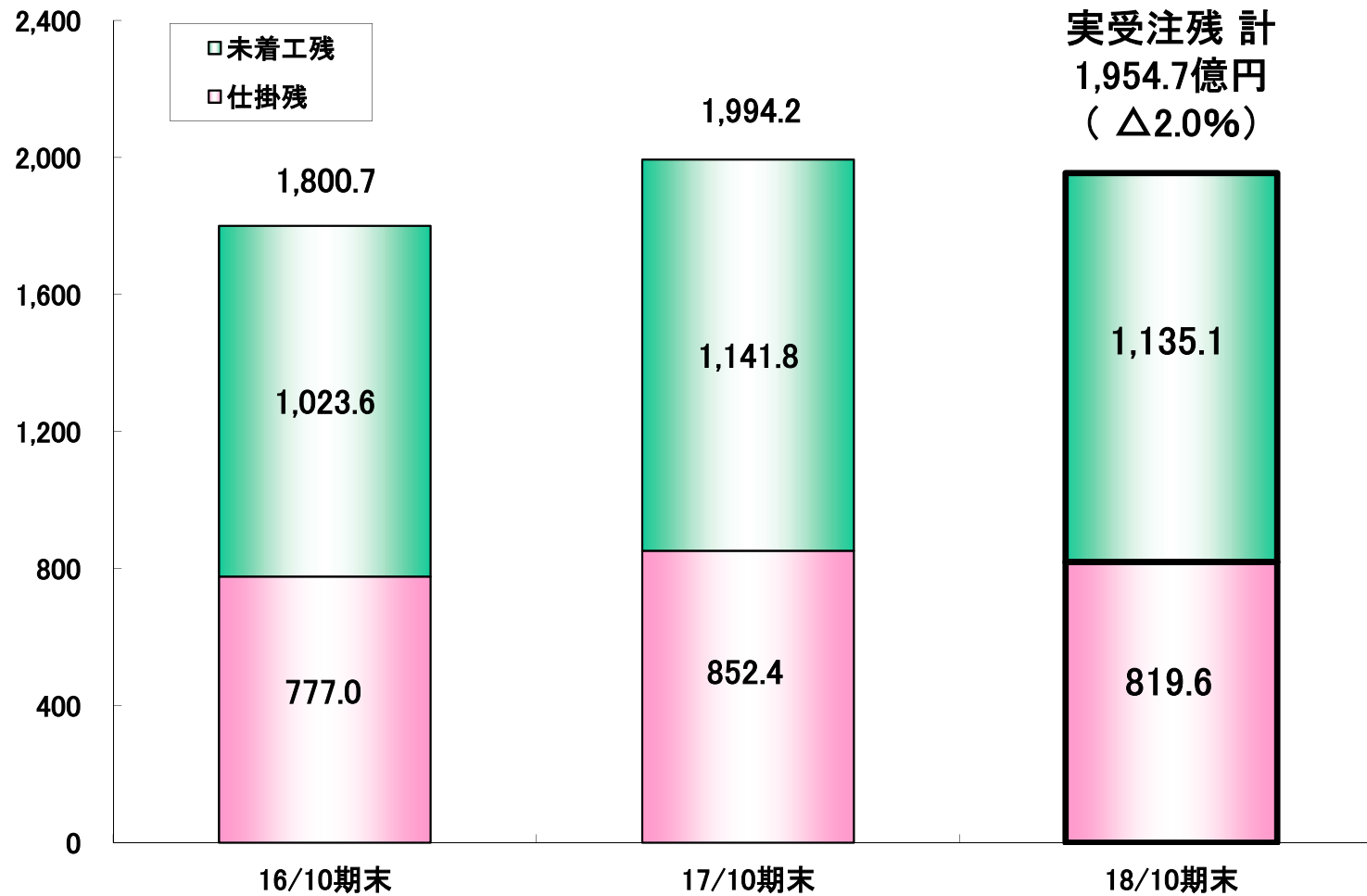
(受注高: 億円)

(平均単価: 百万円)



## 12. 受注残の状況（単体）

（単位：億円）

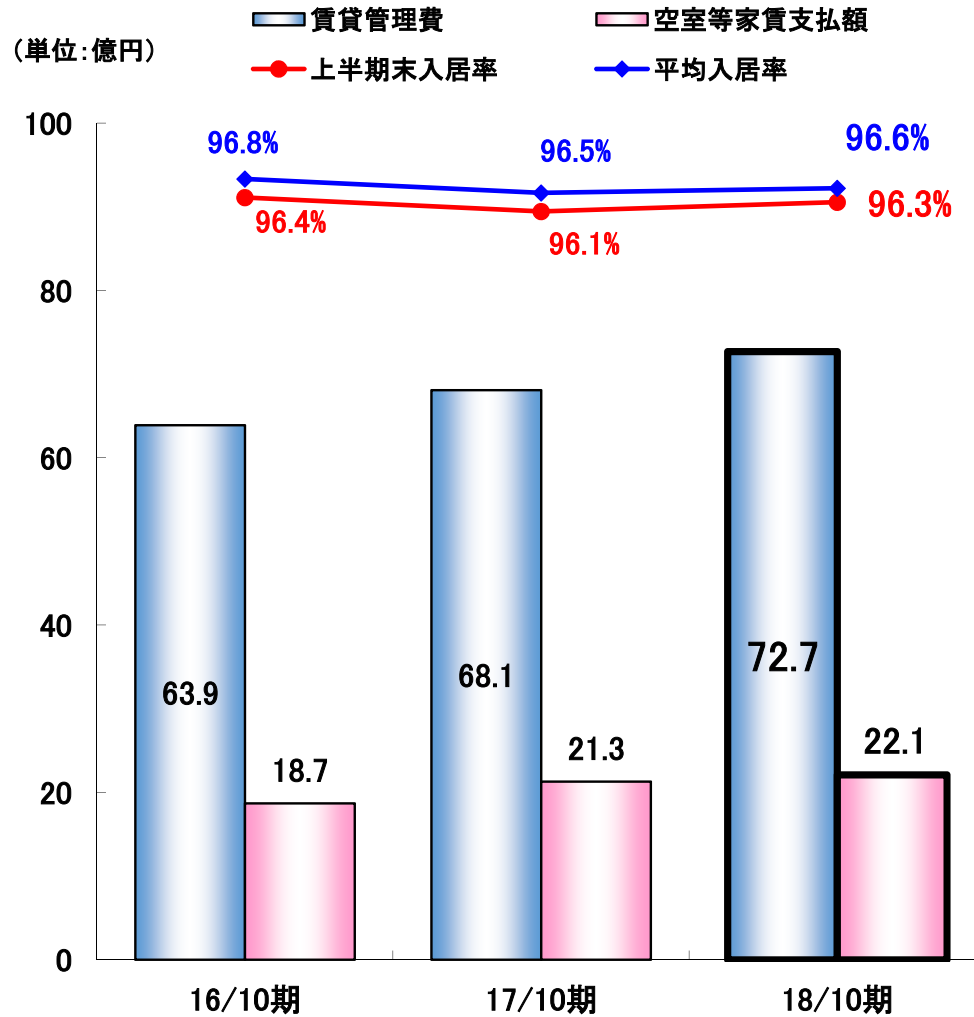


\*上記数値は実工事残高を表しております。  
\*( )内は前同期期比を表しております。



# 13. サブリースの状況

(決算資料 P15)



(単位: 億円)

	16/10期	17/10期	18/10期
賃貸管理費	63.9	68.1	72.7
空室等支払家賃額	18.7	21.3	22.1
収益率	70.7%	68.7%	69.5%

\* 賃貸管理費とは、サブリース物件による入居者様からの受取家賃から賃貸管理業務として頂く管理費

- 管理物件数の増加により賃貸管理費が増加しました。
- 平均入居率の上昇によりサブリース収益率は前期と比較して改善しました。



## Ⅱ. 通期見通し

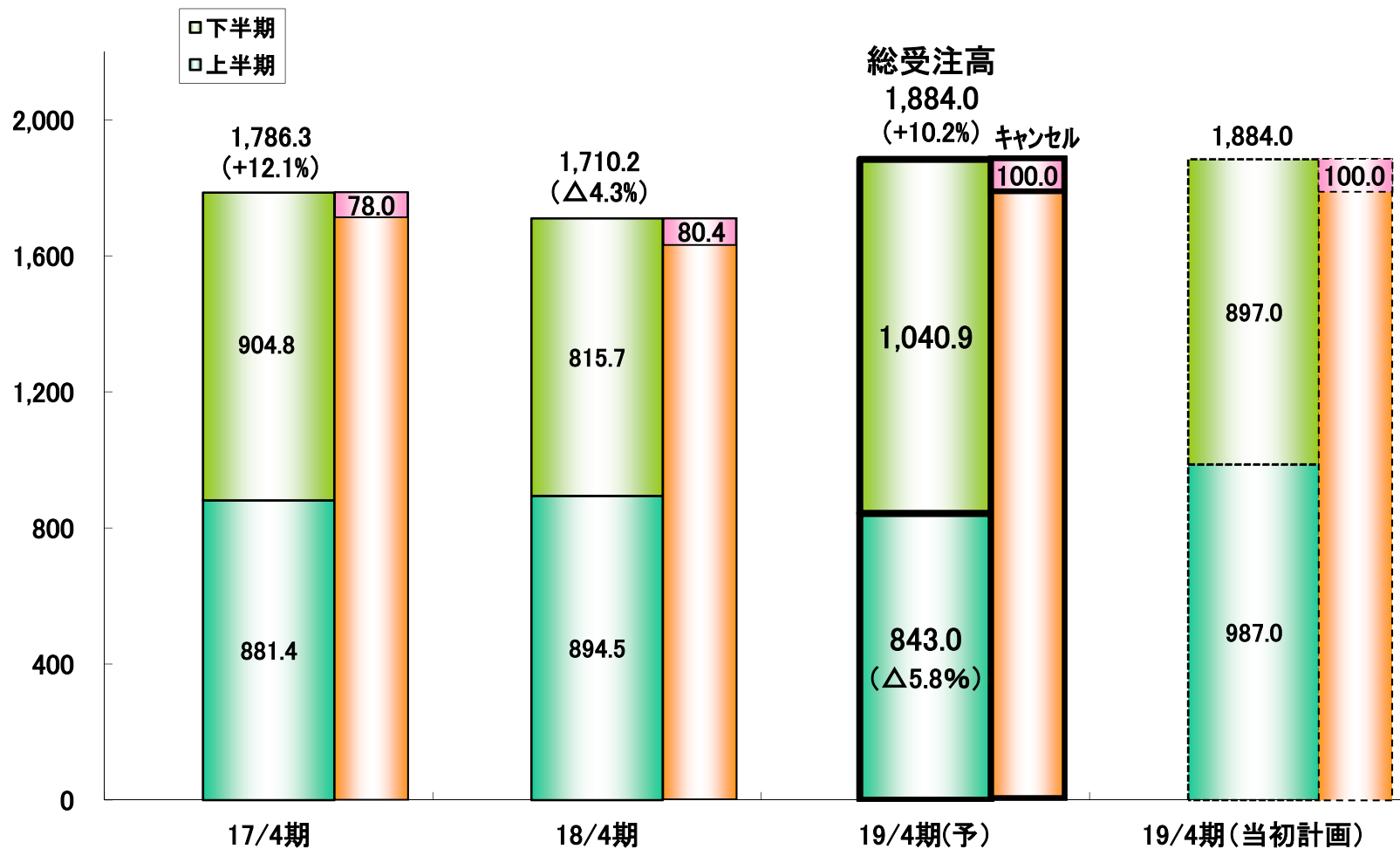
---

# 1. 受注高見通し（単体）

（決算資料P9・16）

期初の目標に変更はありません。

（単位：億円）



## 2. 19年4月期 ～連結損益計算書～

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-7)

期初の計画に変更はありません。

